

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立矢田小学校の結果

～分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について～

区 名	東住吉区
学 校 名	大阪市立矢田小学校
学 校 長 名	宮川 潤一

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和8年4月に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育局では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育局の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・大阪市立矢田小学校では、第6学年 23名

令和８年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立矢田小学校の結果概要

国語、算数ともに全国の平均正答率を下回る結果であった。しかし、個人的に見ると、全国の平均正答率を大きく上回っている児童もいる。

学校生活では、集中し、落ち着いて学習に向かうことができるよう、教職員全体で取り組み続けている。各学年団で、超少人数授業や習熟度別授業を取り入れた学習環境を積極的に用いていることが、子ども達の学習意欲につながっている。しかしながら、生活習慣の質問結果で分かるように、まだ規則正しい生活ができていない家庭が多いのが課題である。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】平均正答率は、「言葉の特徴」「情報の扱い方」「話すこと・聞くこと」「書くこと」の内容では、全国平均を5ポイント以上、下回っている。しかし「読むこと」は、全国平均とほぼ同じ結果となった。視写や対話的活動などを、今後も意識していく必要がある。

【算数】各領域の平均正答率は、「数と計算」「図形」「測定」「変化と関係」は全国平均を下回る結果となった。しかし「データの活用」では、全国平均を上回る結果となった。5年前より、習熟度別学習や少人数学習を多く取り入れ、丁寧な指導をしているが、今後も個に応じたきめ細やかな指導を継続していく必要がある。

各教科で、児童の理解が深まるよう超少人数授業や習熟度別学習で、一人ひとりに丁寧な指導をしてきており、子ども達の学習に対する意欲も高まっている。今後もこの学習スタイルを継続、または発展させた形を考案し、より丁寧な指導に努めていく。

質問調査より

今年度も、基本的な生活習慣（「朝食を毎日食べている」「毎朝同じくらいの時刻に起きている」）が全国・大阪市平均と比べて低くなっている。家庭での部分についても継続した指導と啓発を行っていく。

昨年度も改善が見られたが、今年度も「自尊心の向上」の部分で改善が見られた。「自分には良いところがある」「人と違う意見を言っても否定されない」は肯定的な回答が多く見られた。子ども達一人ひとりと向き合い、寄り添った指導や、仲間と共に活動する取り組みの充実がこのような結果をもたらしていると考える。今後も継続して取り組んでいきたい。

今後の取組（アクションプラン）

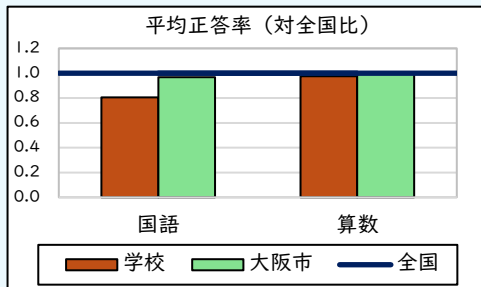
本校は、小中一貫校として「9年間を一体とらえた『学び』と『育ち』を柱とした学習指導」をめざしている。授業研究では、全教員の授業相互参観や、小中合同の授業研究を行い、より良い授業を創るために話し合いを深めてきている。今年度は、研究テーマを「協働してねばり強く学び続ける子の育成～対話的活動を軸とした授業づくりを通して～」と設定し、探究的で対話的な学びから、実践的なコミュニケーション力の育成につなげられるような授業づくりや手立てを研究している。

これらの取り組みを継続しつつ、学年団、教科担任制を活かし、単純2分割学習や超少人数・習熟度別授業も積極的に行い、児童に寄り添った丁寧な指導をし、基礎的・基本的な学力の定着を図っていききたい。また、どの教科でも、ICT機器を活用した視覚的教材の工夫等により、「わかる授業」をめざす。今年で8年目になる漢字検定の取り組みは、全学年を対象に受検する。児童の学習状況を把握しながら、教員と児童、保護者で受検する級を決定し、合格体験や自己肯定感を高めることができる取り組みとして、今後も継続していく。

令和8年度 全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果の概要

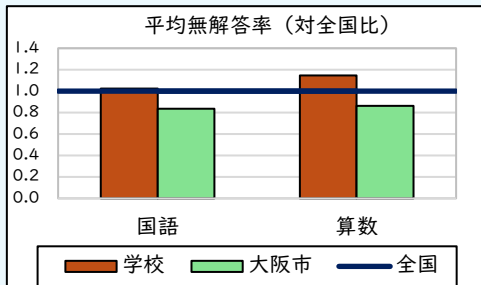
平均正答率（％）

	国語	算数
学校	49	55
大阪市	59	56
全国	60.9	56.4



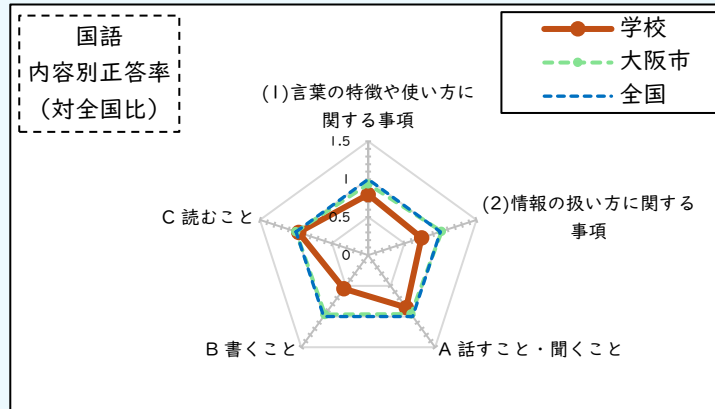
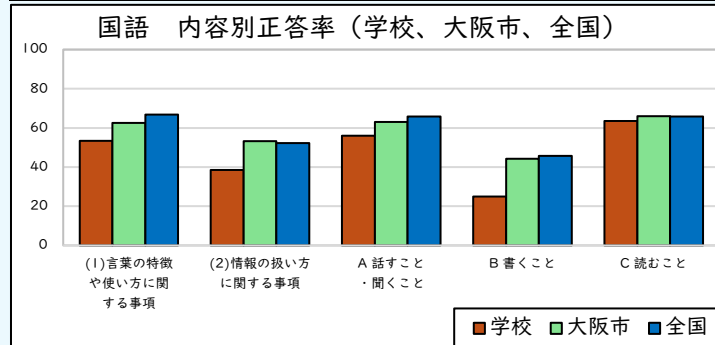
平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	3.5	3.7
大阪市	2.8	2.8
全国	3.4	3.2



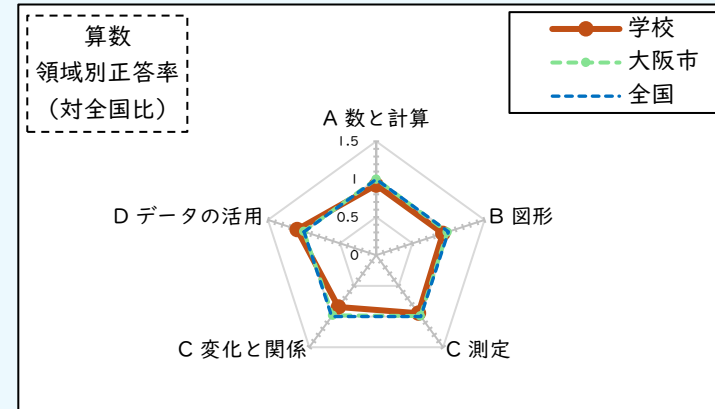
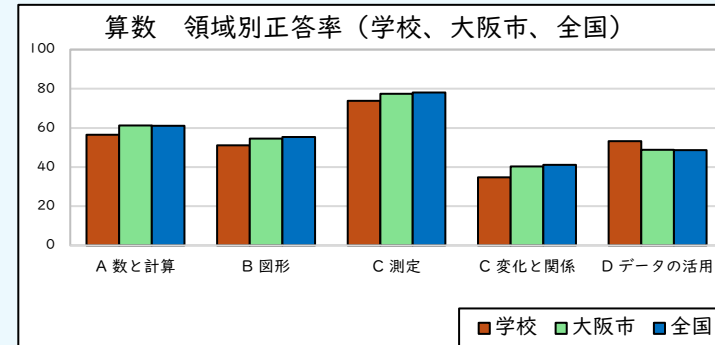
【国語】内容別正答率

学習指導要領の内容	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に 関する事項	4	53.4	62.5	66.8
(2)情報の扱い方に 関する事項	2	38.6	53.2	52.3
(3)我が国の言語文化 に関する事項	0	-	-	-
A 話すこと・聞くこと	3	56.1	63.1	65.8
B 書くこと	2	25.0	44.2	45.7
C 読むこと	2	63.6	66.0	65.9



【算数】領域別正答率

学習指導要領の領域	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	56.5	61.2	61.1
B 図形	4	51.1	54.5	55.3
C 測定	1	73.9	77.5	78.1
C 変化と関係	3	34.8	40.3	41.1
D データの活用	4	53.3	48.8	48.6



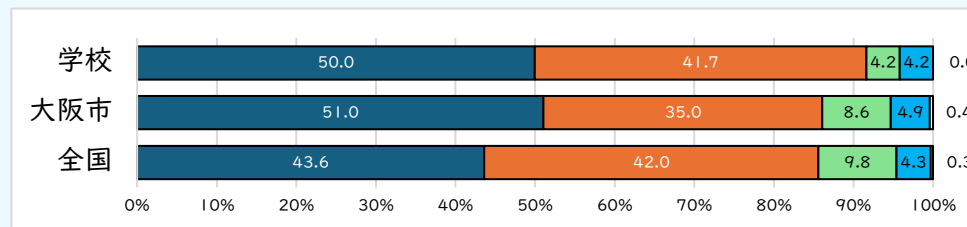
令和8年度 全国学力・学習状況調査 児童質問調査より

■1 ■2 ■3 ■4 ■5 ■6 ■7 □その他・無回答

質問番号 質問事項

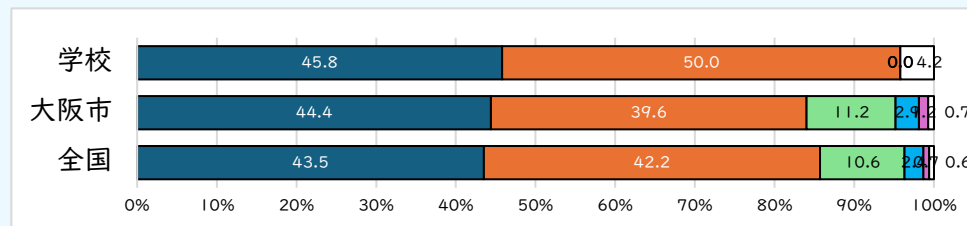
※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(8) 自分には、よいところがあると思いますか



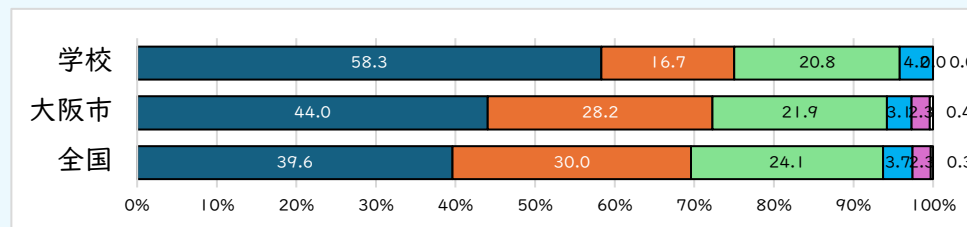
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(42) 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



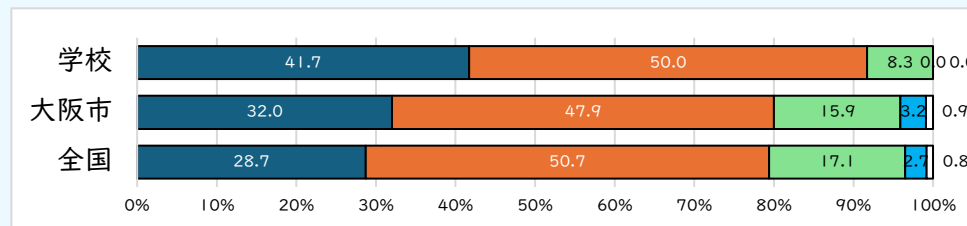
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない
5 学級の友達との間で話し合う活動を行っていない

(20) あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか



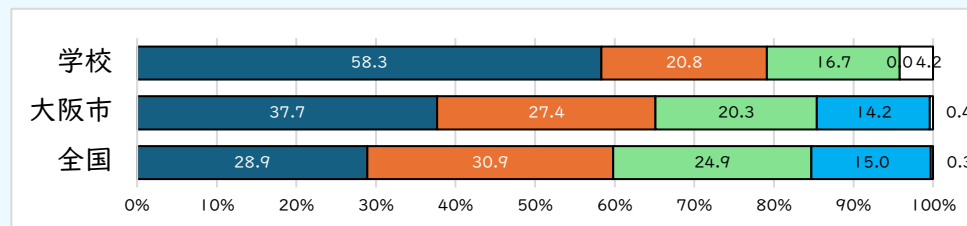
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらともいえない
4 どちらかといえば、当てはまらない
5 当てはまらない

(22) 分からないことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか



1 できている
2 どちらかといえば、できている
3 どちらかといえば、できていない
4 できていない

(69) 英語の勉強は得意ですか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

令和8年度全国学力・学習状況調査 学校質問調査より

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号

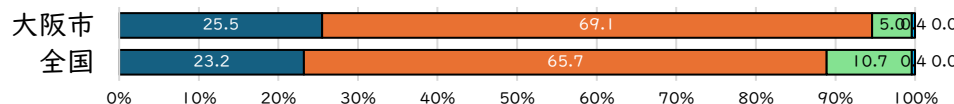
質問事項

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(7)

調査対象学年の児童は、熱意をもって勉強していると思いますか

【学校の回答】 1 そう思う

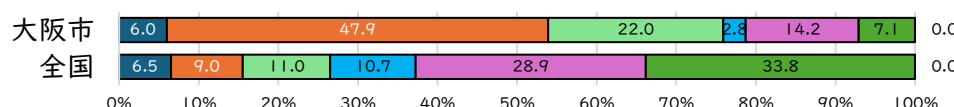


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(56)

英語の授業以外にも児童が英語に触れる機会（イングリッシュキャンプ、English Day、昼休みの英語での放送等）をどの程度設けていますか

【学校の回答】 1 ほぼ毎日

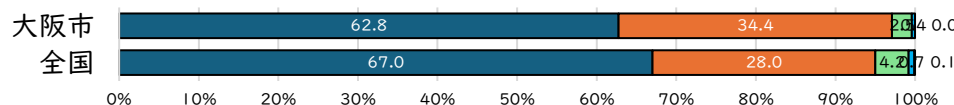


1 ほぼ毎日
2 週数回以上
3 週1回程度
4 月1回程度
5 年数回程度
6 設けていない

(13)

スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる教育相談に関して、児童が相談したい時に相談できる体制となっていますか

【学校の回答】 1 そう思う

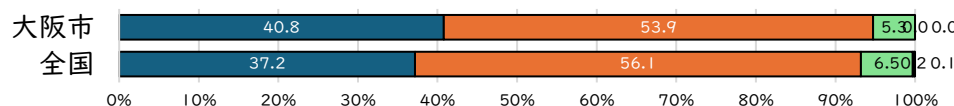


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(58)

児童が学びを深めるための指導改善に向けた取組として、教員がコンピュータなどのICT機器の効果的な使い方を学ぶために必要な情報や研修、自己研鑽の機会等を十分に設けていますか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、当てはまる

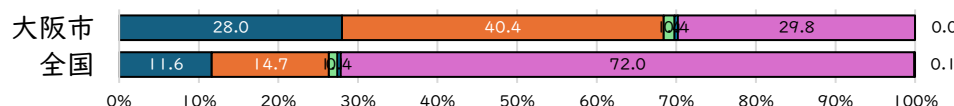


1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(75)

学校では、調査対象学年の児童のうち、日本語指導が必要な児童に対して、特別な配慮に基づく指導をどの程度行っていますか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、行っている



1 十分に行っている
2 どちらかといえば、行っている
3 あまり行っていない
4 行っていない
5 該当する児童がいなかった